

部活動の意義

- 生徒のスポーツ、文化・芸術に親しむ機会を確保
- 生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養
- 自主性の育成にも寄与
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制
- 信頼感・一体感の醸成

部活動の課題（全国的な課題）

- 中学生生徒数の減少が加速化（S61年589万人⇒R3年296万人）
- 教師にとって大きな業務負担（競技等の経験のない教師が指導、休日の部活動指導の増加など）
- 地域のスポーツ団体・指導者と学校との連携・協働不足

部活動の持続可能性の危機

国が目指す姿

学校部活動及び新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドライン（R4年12月スポーツ庁・文化庁）

【ガイドラインの趣旨】

- 学校部活動の地域クラブ活動への移行は、将来にわたり生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するために重要であること。
- 地域クラブ活動は、地域の運営団体・実施主体が行うことになるが、生徒の望ましい成長のため、学校との連携が必要であること。
- 地域クラブ活動の整備方法等は地域の実情に応じた多様な方法があり、段階的な体制整備を進めることが考えられる。

地域移行に向けた改革推進期間

地域クラブ活動の充実



■鶴居村の部活動の現状

| 学校 | 部活動 |
|-------|-------------------------------------|
| 鶴居中学校 | 陸上部 ソフトテニス部 スピードスケート部 吹奏楽部 |
| 幌呂中学校 | バドミントン部 |

■鶴居村の部活動の課題

- 生徒にとっての課題
 - ・生徒数の減少により団体競技の部活動ができない。
 - ・競技種目によっては、少年団活動との継続性がない。
- 教師にとっての課題
 - ・競技経験のない部活動の指導をせざるを得ない。
 - ・教職員数の減少により部活動（数）を精選せざるを得ない

■地域移行に向けたロードマップ

